

製品名: MRE11 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82962**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	80.6kDa

抗原情報

遺伝子名	MRE11
別名	ATLD; HNGS1; MRE11A; MRE11B
遺伝子 ID	4361.0
SwissProt ID	P49959
免疫原	大腸菌で発現したヒト MRE11 (AA: 182-582) の精製された組み換え断片。

背景

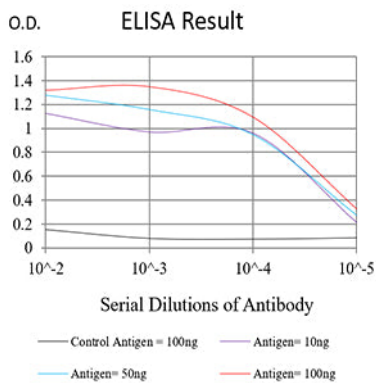
この遺伝子は、相同組換え、テロメア長維持、および DNA 二本鎖切断修復に関与する核タンパク質をコードしています。このタンパク質は単独で、3'→5'エキソヌクレアーゼ活性およびエンドヌクレアーゼ活性を有します。このタンパク質は RAD50 ホモログと複合

体を形成します。この複合体は DNA 末端の非相同結合に必須であり、一本鎖 DNA エンドヌクレアーゼ活性および 3'→5'エキソヌクレアーゼ活性を増強します。DNA リガーゼと共存することで、このタンパク質は in vitro において、DNA 断片末端近傍の短い相同性を利用して非相補末端の結合を促進します。この遺伝子は 3 番染色体上に擬似遺伝子を有しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが生成されます。

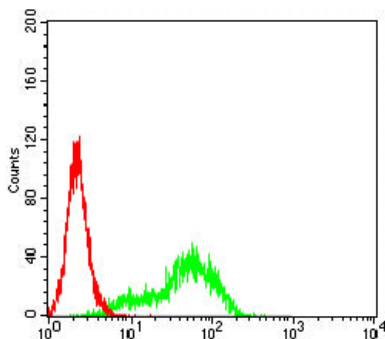
研究分野

-

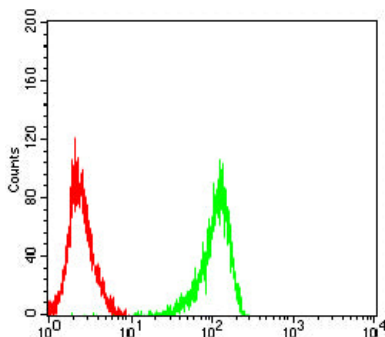
画像データ



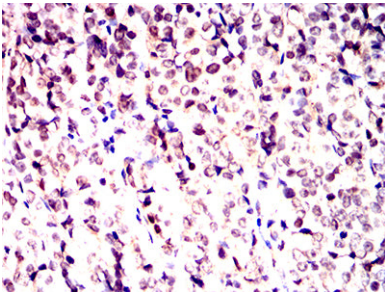
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



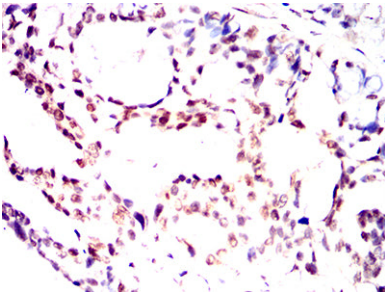
MRE11 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



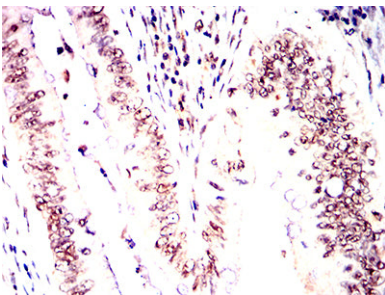
MRE11 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



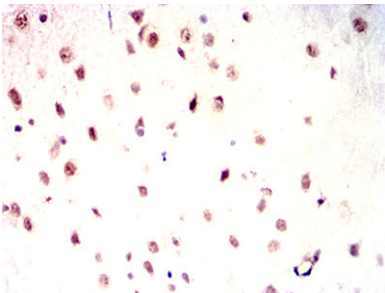
MRE11 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



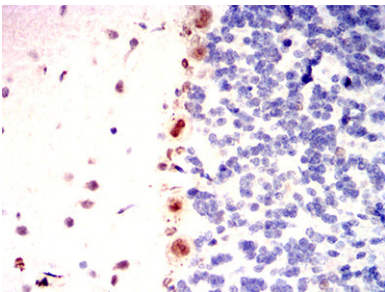
DAB 染色による MRE11 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



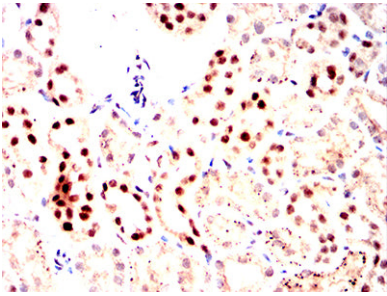
MRE11 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による MRE11 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色を伴う MRE11 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット小脳組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による MRE11 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。